

One-Bo 利用インタビュー

旭化成メディカル株式会社様





旭化成メディカル株式会社

導入ご担当者 様

旭化成メディカル株式会社

旭化成メディカル株式会社は、慢性・急性腎不全や神経疾患、難病などのアンメットニーズに応える各種医療機器システム、輸血用血液製剤の品質向上を支えるフィルター製品、最先端の開発が進むバイオ医薬品など新薬の安全・効率的な製造を可能とする製造プロセス製品など、たゆまぬイノベーションを通じ世界の医療の進歩に貢献します。

会議室不足とオンラインミーティングの増加をきっかけに

旭化成メディカル株式会社（以下：旭化成メディカル）は医療機器の開発・製造・販売を行う企業です。延岡地区にある工場でもコロナ禍以前より工場のスマート化やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、テレワークを導入するなどの働き方改革の推進を行っています。また、その一環で上司・部下での1on1ミーティングの実施を推進しており、どちらかが自宅など別の場所から参加することがよくあります。その際、出社しているメンバーは他の人には聞かれたくない内容もあるので会議室からオンラインで参加することになります。工場設立時に比べて社員数が増加していることもあり、オフィスには会議室が不足していました。以前、東京で勤務していた時から、個室ブースの存在は知っていたため、工場内に設置することで会議室不足を解決出来るのではないかと思います、社内で提案しました。

オンライン会議には最適の環境。内装も清潔感があり使い心地がいい。

他社製のブースも検討していましたが、高額すぎて導入に踏み切れず、反対に10万円程の低価格帯のブースはスペックが十分ではないと感じました。それに対してOne-Boは、オンライン会議をするのに十分な防音性とデザイン性、また担当者さんの消防法への対応から導入までの進め方に安心感があり、導入を決断しました。

実際に利用してみて、想定していたよりも防音効果がありました。中で話している内容が外に漏れにくいので、集中してオンラインミーティングを行うことができます。また、内装が白一色で清潔感があるので、様々な人が心地よく使えます。他社製品にはOne-Boより価格面を抑えたブースはありますが、証明写真機ボックスの製造技術を一部転用し開発されているため耐久性にも安心感があり、納得の価格です。One-Boは、オンラインミーティングを行うのにとっても快適な環境を作ってくれるので、社内の利用頻度も高いです。改めて導入して良かったと思います。

出張先や街中、旅行中のホテルなど、様々な場所でOne-Boを使いたい。

私は仕事柄、出張で様々な場所へ行く機会があります。その合間に打ち合わせや、集中して事務的な作業をしますが、最適な場所がなくて困っています。そういった同じ悩みを持つビジネスマンは少なくないと思います。新幹線を待っている間に仕事ができる場所が生まれ、「ワーケーション」という言葉が出てきたように、出先でオンラインミーティングができる場が今後は増えていくのではないのでしょうか。One-Boのような個室ブースが様々な場所に増え、働く場所を選ばず快適なオンライン会議や作業ができれば、働き方ももっともっと選択肢が増えていきますね。

